

みずほCustomer Desk Report 2023/09/21 号 (As of 2023/09/20)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	147.86 AUD/USD
TKY 9:00AM	147.76	1.0681	157.84	1.2392	0.6464
SYD-NY High	148.36	1.0737	158.43	1.2421	0.6510
SYD-NY Low	147.48	1.0650	157.82	1.2333	0.6440
NY 5:00 PM	148.34	1.0660	158.16	1.2344	0.6447

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,440.88	▲ 76.85	日本2年債	0.0200%	▲0.0100%
NASDAQ	13,469.13	▲ 209.06	日本10年債	0.7200%	0.0000%
S&P	4,402.20	▲ 41.75	米国2年債	5.1705%	0.0793%
日経平均	33,023.78	▲ 218.81	米国5年債	4.5707%	0.0583%
TOPIX	2,406.00	▲ 24.30	米国10年債	4.3979%	0.0342%
シカゴ日経先物	32,835.00	▲ 265.00	独10年債	2.7025%	▲0.0375%
ロンドンFT	7,731.65	71.45	英10年債	4.2130%	▲0.1265%
DAX	15,781.59	117.11	豪10年債	4.2310%	0.0520%
ハンセン指数	17,885.60	▲ 111.57	USDJPY 1M Vol	8.72%	
上海総合	3,108.57	▲ 16.39	USDJPY 3M Vol	9.45%	0.07%
NY金	1,967.10	13.40	USDJPY 6M Vol	9.41%	0.17%
WTI	89.66	▲ 0.82	USDJPY 1M 25RR	▲0.91%	Yen Call Over
CRB指数	288.48	▲ 1.52	EURJPY 3M Vol	9.30%	0.21%
ドルインデックス	105.16	▲ 0.05	EURJPY 6M Vol	9.54%	0.24%

東京	早朝にイエレン米財務長官から本邦介入を容認するような発言があった後、神田財務官から「過度な変動は好ましくない」「米財務省と緊密に連携」などの発言が伝わったが、反応は限定的となり、東京時間は147.76レベルでオープン。今晚のFOMCを前に147円台後半を動意乏しい推移が続いたが、終盤にかけて小幅に上昇し、147.92レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.92レベルでオープン。クロス円の上昇とともに円売りで推移し年初来最高値の148.17まで上昇。午後にはFOMCを控え、その後は上値重い展開で147.82まで売られ、結局、147.88レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2356レベルでオープン。英8月CPIが予想を下回ったことで、明日予定されている政策委員会での利上げ予想が後退し、1.2335まで下落。その後は反発し、結局1.2368レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台後半でスタート。9月FOMCの結果発表を控え、FRBが金融引き締め姿勢を維持する見通しから、米金利が高水準で推移する展開を横目に、148.17まで上昇。しかし、その後米金利が低下する動きに、一転じり安での推移が続き、147.88レベルでNYオープン。米金利が下げ幅を拡大する動きが重しとなり、午後には147.48まで下落。その後、注目の9月FOMCの結果が発表され、現状の政策金利据え置きになる一方、金利見通しでは「FRBメンバーの12人が年内もう一度の利上げを想定」との見方や、2024年度の政策金利が上方修正された内容等からドルが買われ、148円台を回復し、148.12まで上伸する。続いて行われたパウエルFRB議長の記者会見では特段大きなサプライズ発言は見当たらなかったものの、「適切ならさらに金利を引き上げる用意がある」との認識を示した事を受け、ドル買いがさらに強まり、終盤にかけては148.36をつけ年初来高値を更新後、148.34レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.06台後半でスタート。ユーロ株高につれ高となり、1.0705まで上昇し、その後1.0702レベルでNYオープン。午前中はドルが売られる中、1.0737まで続伸する。午後は先述のFOMCの結果を受け、ドルが買いの展開が上値を抑え、1.0650まで下落する。その後、1.0660付近で小動きとなり、1.0660レベルでクロス。

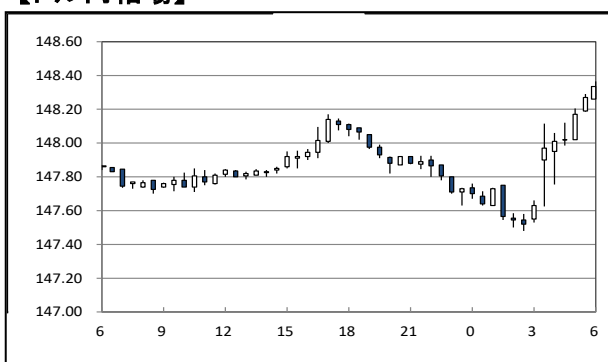
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月20日	08:50	日 貿易収支	8月 -¥930.5B	-¥678.5B
	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	8月 0.3%/6.7%	0.7%/7.0%
	15:00	英 CPIコア(前年比)	8月 6.2%	6.8%
9月21日	03:00	米 FOMC政策金利	20-Sep 5.25%-5.50%	5.25%-5.50%
	03:30	米 パウエルFRB議長会見	「適切であれば追加利上げに動く用意がある」	

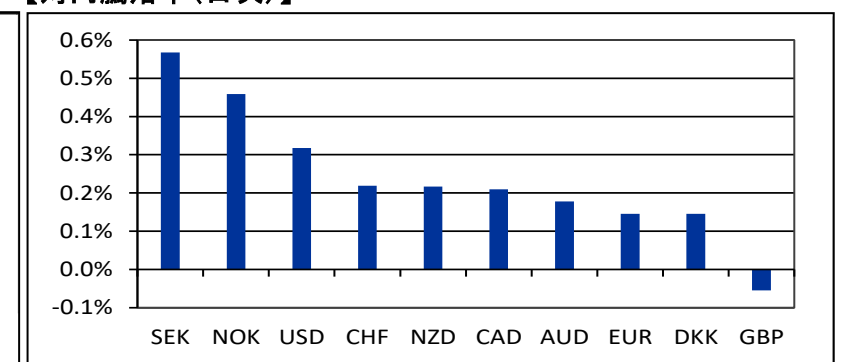
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月21日	20:00	英 イングランド銀行 政策金利	21-Sep 5.50%	5.25%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	16-Sep 225K	220K
	21:30	米 フィデリティ連銀景況	9月 -1.0	12.0
	23:00	米 中古住宅販売件数	8月 4.10M	4.07M

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.80-148.80	1.06000-1.0700	157.60-158.60

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は一旦下値を確認後、FOMCの結果を受け上昇し、年初来高値を更新する動きとなった。海外時間に発表された米政策金利は市場の予想通りの据え置きであったが、パウエル議長の年内あと一回利上げを示唆するタカ派的な発言もあり、一時148.36まで上昇し、同レベルを維持してクローズ。 本日のドル円は148円台でもみ合う展開を予想する。FOMCの結果を受け、日米の金融政策に対するスタンスの違いがより明確となり、金利差を意識した昨日のドル買いの流れは続くであろう。ただ、本日の英金融政策会合と明日発表の日銀金融政策決定会合が控えていることから、材料が出尽くすまでは持ち高を積極的に傾ける動きは少なく、昨日のイエレン米財務長官と神田財務官の為替介入に関する発言から高値警戒感もある為、上値は重いと予想する。
--

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大熊・鈴木